

被災農業者に対する支援策の検討について

1 検討の方向性

- 兵庫県では、東日本大震災の被災農業者への支援策について、以下の方向性を持ち、検討しているところ
 - (1) 被災農業者に対し、農地等が復旧するまでの間、農業技術や人的つながりなどを蓄積しつつ安心して生活できる環境を提供
 - (2) 具体的には、以下の相談に応じられるワンストップ窓口の設置
 - ① 農地、住居、雇用先など生活全般にわたる情報提供・支援
 - ② 被災地の若手農業者等が帰郷までの数年間、いわば「武者修行」的に見聞を広め、新たな農業技術を習得するための実習等の支援

2 当面の動き

- 被災農業者の気持ちに寄り添い、農業者個々の意向を十分に斟酌したうえで、今必要とされる支援のあり方を的確に把握するため、宮城県支援を担当する兵庫県、鳥取県、徳島県、JA兵庫中央会が、宮城県下の農業者等の実態・意向調査を実施する。

<実態・意向調査の日程>

5月25日(水)～27日(金)【3日間】

- 早急に調査結果を取りまとめ、構成府県に報告のうえ、今後の適切な支援のあり方について協議していく。

(参考) 実態・意向調査メンバー〔2班編制〕

区分	行政機関等への調査	JA・個別農家等への調査
班長	北川農政企画局長(兵庫県)	天野農業経営課長(兵庫県)
メンバー (班長含む)	兵庫県 2名 鳥取県 1名 徳島県 1名	兵庫県 3名 JA兵庫 1名
訪問先	<ul style="list-style-type: none"> ・農水省東北農政局 ・宮城県庁(農業振興課等) ・気仙沼市 ・石巻市 ・女川町 ・南三陸町 	<ul style="list-style-type: none"> ・JA宮城中央会 ・単位農協 ・個別農家等 ・地元報道機関